

授業科目名・形態	就労支援論	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	林 宏 二	開講期	4年前期	単位数	1

【授業の主題】

就労について福祉的視点から講義します。具体的には、雇用対策法で「就職が困難な者」と位置づけられている、①身体障害者、②知的障害者、③精神障害者、④刑を終えた出所者、⑤社会的事情により就職が著しく阻害されている者への就労支援についてみていきます。

以上により、就労支援における社会福祉専門職の役割について考えることが主題となります。

【到達目標】

- 1) 「働くこと」の意味を理解する。
- 2) 雇用・就労の動向と施策を理解する。
- 3) 障害者に対する就労支援について理解する。
- 4) 低所得者に対する就労支援について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 働くことの意味と社会福祉士の役割
- 第2回 雇用・就労の動向と施策（1）
- 第3回 雇用・就労の動向と施策（2）
- 第4回 障害者と就労支援（1）
- 第5回 障害者と就労支援（2）
- 第6回 低所得と就労支援（1）
- 第7回 低所得と就労支援（2）
- 第8回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

テキストを中心とした予習を十分に行うこと。

【主な関連する科目】

公的扶助論、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

就労支援サービス（新・社会福祉士養成講座18 中央法規）

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

出席状況（10%）小レポート（10%）、定期試験（80%）で評価する。

【学生へのメッセージ】

雇用の情勢は、ここ2、3年非常に変化しています。雇用情勢の変化について、常日頃から興味をもって、情報収集してください。

また、基本的な労働に関する法制度についても興味を持つようにしてください。